視点１：地域主体　地域住民との連携

「あねっこ号」（岩手県雫石町）

人口（H28.12.31）	17,105人
65歳以上人口比率（H27.10.1）	33.5%
面積（H28.12.31）	608.82km²
人口密度	28.10人/km²

地域の特性	都市部	過疎地域	半島地域	**振興山村**	**特定農山村**	**豪雪地帯 特別豪雪地帯**	該当なし
導入手段	鉄　道	路線バス	コミュニティバス	**デマンドタクシー**	一般乗用タクシー	有償運送	その他

事例概要

○平成16年に町内のみで完結するローカル路線を含む６路線８系統のバス路線が廃止
○「雫石町生活交通対策提言委員会」を組織し、町の生活交通の将来的なあり方について検討
○既存の資源を活用した必要最小限の初期投資による、タクシー車両による乗合輸送システムの立案

○運行路線：御明神線・西根線・西山線・小岩井線・鶯宿線・大村線
○運行形態：乗合タクシー
○利用料金：一般、中高生：1乗車200円、小学生：1乗車100円
○運行車両：９人乗りジャンボ車両３台
　　４人乗り小型車両４台
○役割分担：NPOが運営主体、地元の雫石タクシーに運行を委託。
　　車両の購入補助や無線電話の購入補助として、岩手県市町村振興交付金及び岩手県市町村総合補助金を活用。

導入に至った背景・課題

○交通弱者への住民輸送サービスの確保
・バス路線の廃止に伴い、公共交通空白地帯の拡大。
○生活交通ビジョンとの関連性
・「わが町、雫石のこれからの生活交通ビジョン」に基づき、「NPOと地元企業との連携による輸送システムの導入」の実施

工夫されたポイント

✓ローコスト、ローテクノロジー運営【事業化段階】
高額なITシステムは導入せず、タクシー会社の無線など現有機材とノウハウを活用することで初期投資の抑制が図られている。

その他

○課題
・町直営「患者等輸送バス」との運行日数及び便数の格差の解消。
・利用者等の要望等を踏まえた運行経路等の事業システムの改善。

（出典）雫石町ホームページ
（http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/_files/00000376/27anekkoBus.pdf）
一般のタクシーを活用したデマンド交通事例
（http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/pdf/010_shizukuishi.pdf）